



平成26年度
中央市立図書館の概要

中央市立図書館

玉穂生涯学習館

田富図書館

豊富図書館

はじめに

中央市が誕生し既に9年目となりました。中央市立図書館3館は、それぞれの特長をいかにしながら、乳幼児から高齢者までに幅広いサービスを心がけ、学びの場と安らぎを提供し、住民の皆様の充実した生活に役立てるよう歩みを進めています。

今年度は、市立図書館3館の図書システムの機器を入れ替え、9月中旬から新たなシステムでスタートする計画です。新システムを活用して、市民の皆さまにより利用しやすい図書館を目指しています。

日本図書館協会の最新統計「日本の図書館 統計と名簿2013」によると、人口が3万人未満の全国73市の中で、貸出数が5年連続全国1位。また2012年度の蔵書数、13年度の資料費予算額、11年度資料決算額も全国1位となり、2年連続で7部門中4冠を達成しました。このことを励みに、更に多くの方々に利用していただけるようサービスの向上に努めて参ります。この2年連続全国一4冠達成は、何より利用者の皆様、図書館ボランティアをはじめ、図書館にかかわるすべての方々のおかげと心より感謝しております。

さて、中央市では、市で誕生したすべての赤ちゃんに、4ヶ月健診時に絵本を2冊ずつプレゼントする「ブックスタート」事業を実施してきました。また、平成20年度より小学校入学時に本を一冊ずつプレゼントする「新入生ブックプレゼント」事業もスタートし実施7回目を数えます。特に「ブックスタート」については、より充実した内容で実施できるよう平成23年度より7ヶ月検診時に実施するように変更しました。実施時期を変更したばかりでなく、ブックスタート・ボランティアを募集し、4回の学習会を経て、20数名の方々にボランティア登録していただくことができました。ボランティアの皆様の協力を得て、充実した「ブックスタート」事業となっています。更に平成24年度からは、中央市司書会の協力の下、中学校3年生を対象に「卒業生ブックプレゼント」事業をスタートし、昨年度からは、「中1ブック便」事業を実施したところです。

平成19年4月に策定された「中央市子ども読書活動推進計画」については、平成23年度で5カ年が終了し、同年から次の5カ年計画の策定に向けて改定作業に取り組み、平成24年度から第二次5カ年計画がスタートしました。家庭・地域・学校等と連携を深め、さらに子どもの読書活動が推進されるよう、読書環境の整備等に向けて努めたいと思います。図書館協議会の皆様にはご理解と、ご協力および折に触れてのご指導をいただきたくお願い申し上げます。

中央市の概要

平成18年2月20日、「実り豊かな生活文化都市」を新市の将来像に掲げ、旧玉穂町、旧田富町、旧豊富村の2町1村が合併し「中央市」となりました。市内には山梨大学医学部、大型商業施設、工業団地などが建ち並ぶ一方田園風景も広がり、都市空間としての調和が感じられます。

中央市は山梨県の中央南部に位置し、東は鎌田川を挟んで甲府市に、北はJR身延線、昭和バイパスを境に昭和町に、西は釜無川を挟んで南アルプス市に、南は市川三郷町に隣接しています。釜無川により形成された沖積平野の地域と御坂山系からなる地域との二つの地理的特性を持っており、両地域は笛吹川によって隔てられています。平坦部は玉穂、田富の2地区が笛吹川と釜無川に挟まれた形で位置しており、豊富は山間部に広がる地域となっています。

面積は、玉穂地区が8.22km²、田富地区が10.09km²、豊富地区が13.50km²となります。土地の利用状況は、宅地が21.9%、農用地が25.6%、森林が17.3%、その他35.2%と、農用地と宅地の占める割合が高く、居住や産業に利活用されている平坦地が多いことが特徴です。

人口は、平成22年の国勢調査では31,322人であり、平成17年と比較して0.9%の減少傾向にあります。年齢3区分別人口割合の推移で見ると、本市は65歳以上の高齢人口の割合は18.0%で県平均の24.6%に比べて低く、若い世代が多い地域です。また、外国籍住民の人口比率が5.41%（平成23年12月末現在）と近隣自治体に比べて高くなっています。

産業別就業人口の構成比を見ると第1次産業が減少し、第3次産業が半数を超えています。また、第2次産業は近年減少傾向となっています。

○市の花 れんげ草 市の木 桜 市の鳥 しらさぎ

○中央市教育の日(まごころの日) 2月20日

○中央市の教育の基本 まごころ

生きる力をはぐくむ教育 (生)
命を大切にする教育 (命)
信頼しあう教育 (信)



施設の概要

○玉穂生涯学習館

建物の概要

名称	中央市立玉穂生涯学習館
所在地	山梨県中央市下河東1-1
敷地面積	6,063㎡
延床面積	2,223㎡（うち図書館部分 932㎡）
構造	鉄筋コンクリート 2階建て（一部鉄骨）
駐車場	70台

施設内容

最大収容能力 10万冊（開架5万冊・閉架5万冊）

一階		二階	
ロビー	186㎡	第1研修室	87㎡（35席）
開架コーナー	681㎡	第2研修室	71㎡（24席）
AVコーナー	57㎡	読書室	74㎡（44席）
地域資料室	28㎡	視聴覚ホール	258㎡（204席）
対面朗読室	7㎡	その他	272㎡
閉架書庫	85㎡	事務室	97㎡
その他	320㎡		

○田富図書館

建物の概要

名称	中央市立田富図書館
所在地	山梨県中央市臼井阿原240-1
敷地面積	3,107㎡
延床面積	1,167㎡
構造	鉄筋コンクリート 平屋建て（一部鉄骨）
駐車場	89台（3,051㎡）

施設内容

最大収容能力 8万冊（開架4万冊・閉架4万冊）

開架コーナー	454㎡	展示ギャラリー	61㎡
ブラウジングコーナー	24㎡	閉架書庫	80㎡
AVコーナー	24㎡	事務室	63㎡
地域資料室	29㎡	対面朗読室	6㎡
視聴覚室	100㎡	その他	332㎡

○豊富図書館（分館）

建物の概要

名称	中央市立玉穂生涯学習館豊富分館
所在地	山梨県中央市大鳥居3866（豊富庁舎内）
敷地面積	豊富庁舎内
延床面積	80㎡
構造	鉄筋コンクリート
駐車場	豊富庁舎等兼用

施設内容

最大収容能力 1万冊

中央市立図書館のあゆみ

○玉穂生涯学習館

- 昭和53年 玉穂村立総合会館が施行され、図書室ができる。(45㎡)
図書館ボランティアグループ「赤ずきんの会」の協力で読書サービスを行う。
- 平成7年 住民アンケートの結果、文化会館・図書館建設の要望が多く、「文化会館(仮称)建設検討委員会」を設置
- 平成8年 建設検討委員会による会議、施設視察を重ねた結果、「図書館をメインとし、生涯学習が行える施設」の答申があり名称を「玉穂町生涯学習館(町立図書館)」に決定する。
- 平成9年 建設用地を取得し、工事に着工。シンボルキャラクターを町民に公募し「スマレちゃん」に決定する。
- 平成10年
1月 生涯学習館準備室を設置。館長1名、職員2名(うち司書1名)
3月 学習館運営のため「準備運営委員会」を設置。13名に委嘱。会議と視察を重ねる。
6月 本体工事完成
9月 外構工事完成
11月 生涯学習館開館(1日)
「玉穂町生涯学習館運営委員会」を設置
広域圏図書館ネットワークシステムに加盟
県図書館情報ネットワークシステムに加盟
- 平成11年
10月 第15回山梨県図書館大会の開催
- 平成12年
11月 ボランティアグループ「プーさんの会」発足
- 平成13年
4月 「はじめての絵本」事業(ブックスタート)を開始する。
町の情報ネットワーク事業に伴い、インターネット端末が5台導入される。(現在7台)
朗読ボランティアグループ「ごらくとんぼ」発足
8月 平日開館時間2時間延長。貸出冊数も5冊から10冊に増冊
たしたネット(玉穂・昭和・田富三町による相互貸借)発足
- 平成16年
5月 DVD貸出開始
7月 山梨大学医学部付属病院小児科病棟にミニ子ども図書館開設
- 平成17年 平成18年2月の合併に向けて合併協議多数回実施
- 平成18年
2月 玉穂町、田富町、豊富村合併し中央市となる。
総称を中央市立図書館とする。(条例改正あり)
貸し出し数変更
4月 市内図書館物流開始、中央市立図書館ホームページ開設
6月 中央市立図書館協議会発足
9月 中央市子ども読書活動推進計画策定委員会発足
11月 インターネット予約開始
- 平成19年
4月 中央市子ども読書活動推進計画策定 冊子刊行
28日 豊富分館開館(条例改正あり)
正式名称 中央市立玉穂生涯学習館豊富分館とする。
通称 豊富図書館(分館)
5月 5月5日こどもの日開館

平成22年

- 4月 経済対策臨時交付事業として、平成21年度末図書システムの機器を入れ替え、平成22年4月から新たにスタートする。

平成23年

- 3月 ブックスタートボランティア学習会（4回）
- 4月 ブックスタートを7か月健診時に変更
「住民生活に光をそそぐ交付金」事業にて司書1名短期雇用（平成24年度まで）

平成24年

- 4月 中央市子ども読書活動推進計画（第二次）策定 冊子刊行（3館共通）
駐車場内浄化槽マンホールの改修工事

平成25年

- 3月 卒業生ブックプレゼント事業開始
- 5月 中1ブック便事業開始

平成26年

- 2月 大雪のため臨時休館（15日・16日）

○田富図書館

平成 3年

- 12月 「住民の読書活動の推進策」について社会教育委員に諮問
答申の中で、重要施設の一つとして「町立図書館」の設置が挙げられた。

平成 4年

- 3月 「生涯学習に関する住民の意識調査」を実施
通産省指定ニューメディアコミュニティ構想「地域情報化の推進」に関する住民意識調査実施
文化施設図書館施設の要望が出された。

平成 5年

- 3月 「町立文化会館及び町立図書館建設検討委員会」発足
有識者54名委嘱。会議、施設視察を重ねる。
- 10月 検討委員会より町立図書館建設の答申がなされる。

平成 6年

- 2月 議会説明（議員協議会）建設地、建設予算、建設面積等
- ～3月 議会建設予算等説明（平成6年度図書館建設予算議決承認）
- 4月 図書館準備担当者増員
- 6月 町立図書館建設委員会設立（議会議員、教育委員、有識者）
町立図書館建設委員会基本設計説明
農振農用地区域除外協議（建設地）
- 9月 農振農用地区域除外認可
図書館用地売買契約締結
図書館造成工事着手
- 10月 図書館建設工事入札（本体、電気、機械設備）
議会議決承認（工事入札の件）
起工式（10月19日）

平成7年

1月 書架、視聴覚、事務備品発注
2月 建設委員会開催
進捗状況、図書館設置及び管理等に関する条例（案）及び規則（案）説明

5月 図書館外構工事発注
図書館本体工事完成（5月17日）
建築基準法・消防法に基づく検査済証交付
図書及びAV資料コンピュータ入力

6月 図書館外構工事完成
図書及びAV資料配架整理

7月 竣工式（7月21日）
開館（7月22日）
広域圏図書館ネットワークシステムに加盟
県図書館情報ネットワークシステムに加盟

12月 ボランティアグループ「ひよこの会」発足
おはなし会「トミーくんのおはなし・あそびタイム」、読みきかせなどの活動開始。
人形劇いろはグループ（昭和58年発足）の活動開始。

平成9年

7月 朗読サークルみすず会発足。朗読発表会「おはなし会キッズおはなし・ききタイム」などの活動開始

平成12年

10月 町立図書館閉架書庫整理業務（県緊急地域雇用特別基金事業）

平成13年

3月 許容収容蔵書数量達成（80,000冊）。

8月 たしたネット発足

平成14年

1月 町立図書館資料及び利用カード整理事業（県緊急地域雇用創出特別基金事業）

平成15年

3月 前庭へ休憩施設「あずま屋」設置
田富小中学校とのネットワーク環境整備

平成17年 平成18年2月の合併に向けて合併協議多数回実施

平成18年

2月 合併により中央市立田富図書館と名称変更。（合併による運営は玉穂生涯学習館と同じ）

平成19年

1月 空調増設工事完成

平成20年

9月 屋根外壁修繕工事完成

平成22年

2月 屋根塗装工事完成

4月 経済対策臨時交付事業として、平成21年度末図書システムの機器を入れ替え
平成22年4月から新たにスタートする。

平成23年

4月 「住民生活に光をそそぐ交付金」事業にて司書1名短期雇用（平成24年度まで）
駐車場を図書館東に設置

平成25年 駐車場案内看板設置工事

3月 卒業生ブックプレゼント事業開始

5月 中1ブック便事業開始

平成26年

2月 大雪のため臨時休館（15・16日）

○豊富図書館

- 平成18年 合併協議時に豊富分館設置について協議したが、合併後に再協議となる。
- 3月 生涯教育課と場所選定等協議
 - 7月 豊富庁舎空きスペースの2階部分視察
豊富中央公民館に返却ポスト設置
 - 8月 庁舎1階部分視察。設置場所として決定
 - 10月 開館時間、休館日、人員等協議
 - 11月 平成19年4月開館を目指し、12月補正に予算計上
- 平成19年
- 2月 豊富庁舎図書館スペース改修工事入札
解体工事着手
書架入札
 - 3月 改修工事検査
 - 4月 書架等納品・設置
中央公民館本移設
購入本受け入れ配架
開館（4月28日）
- 平成20年
- 4月 ボランティアグループ「ひだまり」発足
おはなし会「モモ」活動開始
- 平成22年
- 4月 経済対策臨時交付事業として、平成21年度末図書システムの機器を入れ替え、平成22年4月から新たにスタートする。
- 平成23年
- 3月 ボランティアグループ「ひだまり」の協力により「春のおはなし会」開始
 - 7月 ボランティアグループ「ひだまり」の協力により「ちょっとこわいおはなし会」開始
- 平成24年
- 12月 豊富庁舎2階に第2閉架増設
- 平成26年
- 2月 大雪のため臨時休館（15・16日）